

CLIおよびGUIユーザクレデンシャルのリセット

内容

[はじめに](#)

[CLIユーザ](#)

[CyberVisionバージョン4.1以降](#)

[バージョン4.1以前の場合](#)

[既知の問題](#)

[GUIユーザ](#)

はじめに

このドキュメントでは、CyberVision CenterのCLIおよびGUIユーザアカウントのパスワードリセット手順について説明します。

CLIユーザ

CyberVisionバージョン4.1以降



注：はデフォルトのCLIユーザです cv-admin。

-
1. センターのブートプロセス中に、**tab**キーを押します。これにより、通常のブートプロセスが中断されます(これらの行が表示されている最初の部分で**tab**キーを押してください。1秒遅れても、中央は通常どおりにブートします)。

```
SYSLINUX 6.04 EDD 20190226 Copyright (C) 1994-2015 H. Peter Anvin et al
Welcome to SBS
boot:
  SBS SBS-factory
boot: SBS-factory_
```

2. ブートとして**SBS-factory**と入力します。これにより、センターのレスキューモードが起動します。
3. デフォルトのレスキューモードを使用し、ログインユーザを**root**、パスワードを**sentryo69!**とします。

4. 新しいパスワードハッシュを生成するには、次のコマンドを実行します。

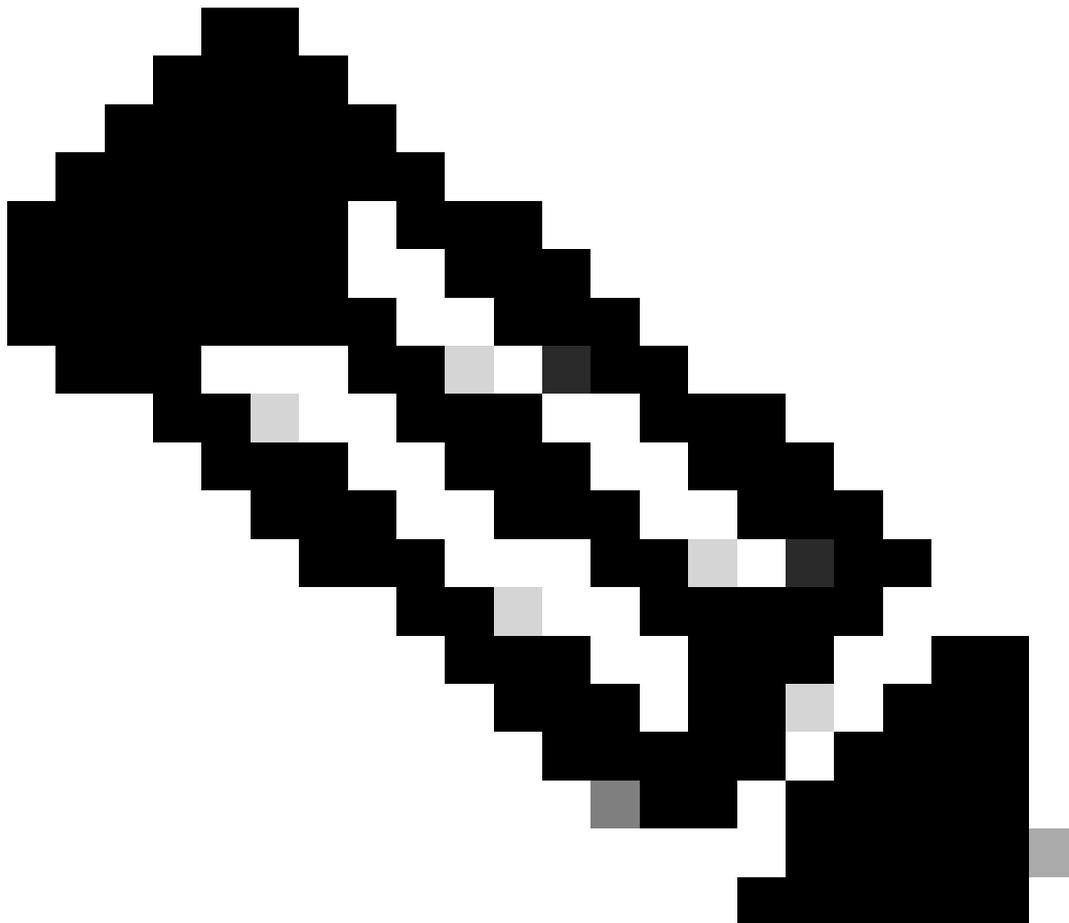
```
root@rescue#echo -n "cv-admin:" > /data/etc/sbs/user-passwd.hash  
root@rescue#openssl passwd -6 >> /data/etc/sbs/user-passwd.hash  
You are prompted to modify the password at this step
```

5. ここで、#rebootコマンドを使用してリブートします。

6. センターが起動したら、cv-adminのユーザと新しい一時パスワード（ステップ4から）を使用してログインします。

7. 一時パスワードを変更するには、#sbs-passwdコマンドを実行します。

4.1以前のバージョンの場合



注：rootはデフォルトCLIユーザです。

1. センターのブートプロセス中に、**tab**キーを押します。これにより、通常のブートプロセスが中断されます(これらの行が表示されている最初の部分で**tab**キーを押してください。1秒遅れても、中央は通常どおりにブートします)。

```
SYSLINUX 6.04 EDD 20190226 Copyright (C) 1994-2015 H. Peter Anvin et al
Welcome to SBS
boot:
  SBS SBS-factory
boot: SBS-factory_
```

2. ブートとして**SBS-factory**と入力します。これにより、センターのレスキューモードが起動します。
3. デフォルトのレスキューモードを使用し、ログインユーザを**root**、パスワードを**sentryo69!**とします。
4. パスワードファイルを削除し、次のコマンドを使用してリブートします。

```
root@rescue#rm /data/etc/sbs/root-passwd.hash
root@rescue#reboot
```

5. センターがブートアップしたら、**root**ユーザとデフォルトパスワード**sentryo69!**を使用してログインします。
6. デフォルトパスワードを変更するには、**#sbs-passwd**コマンドを実行します。

既知の問題

前述の手順を使用してdefault/temporaryパスワードを設定すると、ユーザのログインがブロックされることがあります。これは、いくつかのパスワード関連のロックファイルが変更されていないことが原因である可能性があります。

このようなシナリオでは、次の回避策を実行します。

センターをレスキューモードで起動し（前述のステップ1～3に進みます）、これらのファイルを削除して、センターをリブートします。

```
root@rescue#rm /data/etc/passwd.lock
root@rescue#rm /data/etc/shadow.lock
root@rescue#reboot
```

これで、**cv-admin** (デフォルトユーザ) と新しく定義したパスワードで接続できるようになります。

GUIユーザ

管理者Webアカウントがブロックまたは忘れた場合：

すべてのGUIアカウントをフラッシュするCenter CLIで次のコマンドを実行します。

```
<#root>
```

```
root@Center-4:~#
```

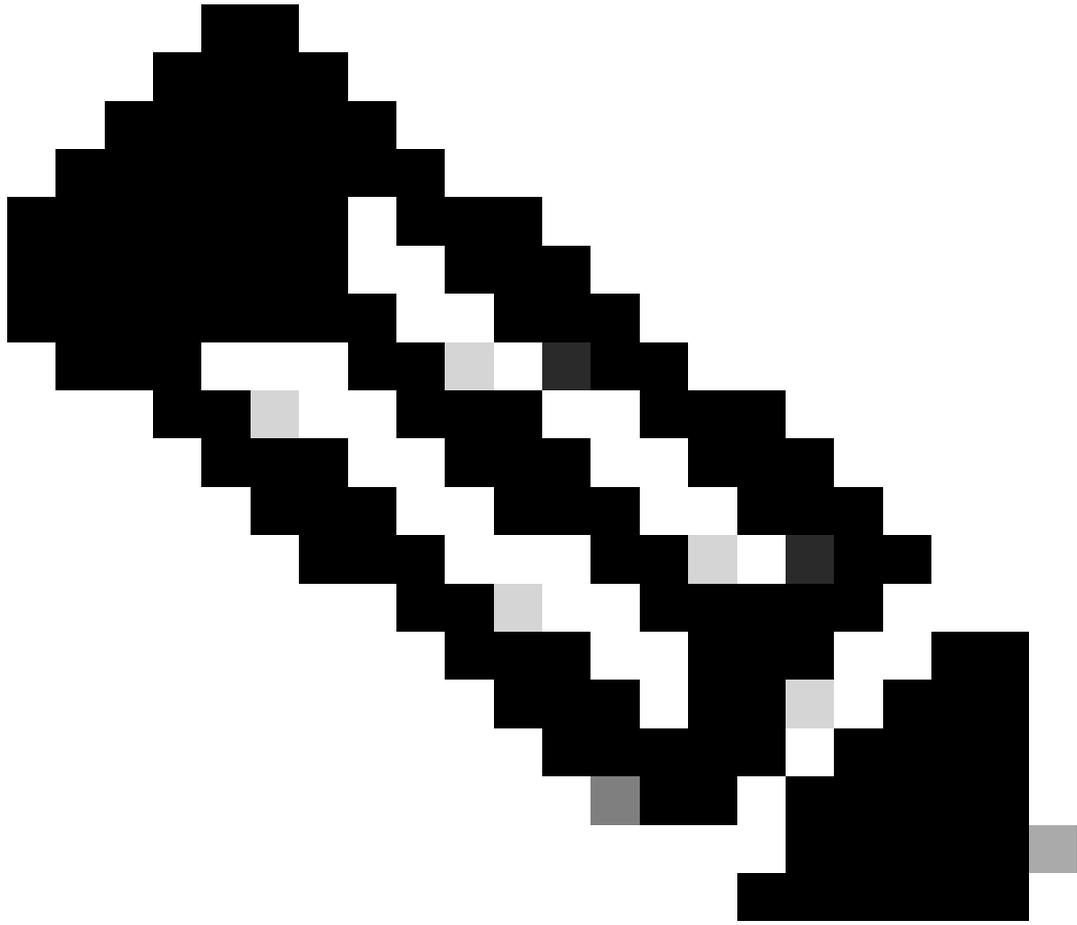
```
sbs-db reset-users
```

```
Users database successfully reset. You can now re-create the admin account using the GUI.
```

```
root@Center-4:~#
```

新しいブラウザセッションで、CyberVision GUIを起動します。次の画面が表示され、新しい管理者ユーザを作成するようにウィザードからユーザが招待されます。

The screenshot displays the Cisco Cyber Vision user creation wizard. At the top, the Cisco logo is centered above the heading "Welcome to Cyber Vision". Below the heading, a sub-header reads "Please follow this few steps to be fully ready to use the product". A progress indicator shows three steps: "Create the first user" (active), "Agree to the license terms", and "Done". The main form area contains the following fields: "Firstname" and "Lastname" (both empty), "Email" (empty), "Password" and "Confirm password" (both empty). Below the password fields, a "Suggested password" is shown as "f,un>3pAJJt"QSI9", with copy and paste icons. A blue "Create" button is located at the bottom right of the form.



注:sbs-db reset-usersコマンドを実行すると、GUIから作成されたすべてのユーザが削除されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。